

【リベラルアーツ】カリキュラムマップ(2019年度以降入学生用)

【リベラルアーツ】 ディプロマポリシー		1. 知識・理解	①幅広い視野: 1. 人、自然、環境、社会、地域、国際について多様性を認識して理解することができる。 2. 幅広い視野に立って人や社会の様態を見る態度を身につけている。 3. さまざまな分野の人や文化の理解に務め、共生の精神を持っている。						
		2. 汎用的能力	②基本的能力: 1. 基礎的英語のスキルを修得し、活用することができる。 2. 基礎的ICTの知識・スキルを修得し、活用することができる。 3. 基本的コミュニケーション能力と日本語の運用力を修得し、活用することができる。						
【リベラルアーツ】 ディプロマポリシー		3. 態度・志向性	③豊かな人間性: 1. 仏教精神を深く理解し、自分の生活に生かすことができる。 2. 建学の精神を十分に理解し、学修活動や社会活動に生かすことができる。 3. 人間性や市民性の涵養に努め、自立した個人として適切な判断力と行動力を備えている。 4. 日本文化について深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる。 ④態度・志向性: 1. 大学で学ぶ意欲を十分に備え、学修活動や社会活動に積極的に取り組むことができる。 2. 適切な人間関係を構築し、思いやりの心を持って他者と接することができる。 3. 大学での学びを、基礎から発展的・専門的段階まで適切に理解し実践することができる。 4. 自己と健康管理への関心を常に持ち、適切な自己管理を実践することができる。						
		4. 統合的な学習経験と創造的思考力	⑤応用的能力: 1. 自らの生涯を見通す視野を持ち、適切なキャリアデザイン力を備えている。 2. 現代社会について十分な理解を持ち、さまざまな職業について興味関心を持っている。 3. 現代社会の諸問題を解決するために、適切な知識と技能を修得し、問題解決に実践的に取り組むことができる。						
学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業 内外の学修 活動の総和) 全体を100とし たときの配分	ディプロマポリシーの項目番号					
				①	②	③	④	⑤	
				凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで					
共通 コア 科目	1	仏教の人間観Ⅰ	1. 人間観なるものに触れる	30	○		◎		
			2. 仏教をはじめとする複数の人間観を学び、他者や共同体のあり方に自分がかかわっていることを自覚できる	35			◎	○	
			3. 自分自身の他者に対する向き合い方を振り返ることができる	35			◎	○	
	2	仏教の人間観Ⅱ	1. 仏教をはじめとする複数の人間観を通して、社会のありようを考察できる	30	○		◎		
			2. 仏教の人間観にもとづく他者への思いやりを理解できる	35			◎	○	
			3. 真実に即した心のコントロールの必要性を十分理解できる	35			◎	○	
	3	京都光華の学び	1. 本校史、および建学の精神のよって立つところを理解し、大学生活の中に活かそうとする	30			◎	○	
			2. 社会的・政治的論争のある問題について、関連情報を集め批判的に評価し、自らの意見を述べる事ができる	50			◎		○
			3. 身近な地域コミュニティの課題に対して、関連情報を集め批判的に評価し、自らの意見を述べる事ができる	20			◎		○
	4	アカデミックスキル入門	1. 大学生として学修に対し適切にして自覚的振舞いができる	30		○		◎	
			2. 大学において求められる学修行動を理解し、実践できる	35		○		◎	
3. レポートの基本的な形式を理解し、実践できる			35		○		◎		
5	アカデミック・ライティング	1. 目的に応じて適切な語彙と表現を選択することができる	30		◎		○		
		2. 自分の意見を論理的かつ効果的に組み立て発表できる	40		◎		○		
		3. 他者の文章や口頭表現を適切に批評、添削することができる	30		◎		○		
6	伝統文化	1. 礼儀作法を基盤として季節感、審美眼を養い、日本文化の特性を説明することができる。	40	◎		○			
		2. 礼法・茶道・華道・書道における基本的な手法と立ち振る舞いを修得している。	30	○		◎			
		3. 礼法・茶道・華道・書道の関連性を理解し、他者への思いやりを備えた行動をとることができる。	30			○	◎	○	
7	総合英語Ⅰ	1. 自分に直接かかわりのある事象に関して、ある程度まとまった文章で英文法の知識も使いながら書くことができる。(CEFR-J B1.1/B1.2)	40			◎			
		2. 平易な英語で書かれた文や自分の専門分野に関しては(Globish1500レベルの語彙使用)難しい部分を読み返せばだいたいの意味がわかる。(CEFR-J B1.2/B2.1)	30			◎			
		3. 身近なトピックや個人的に関心のあるトピックに関しては、聞いて理解したり、簡単な英語でやりとりしたりできる。メモの助けで発表もできる。(CEFR-J A2-2/B1.2)	30			◎			
8	総合英語Ⅱ	1. 自分に直接かかわりのある事象に関して、ある程度まとまった文章で英文法の知識も使いながら書くことができる。(CEFR-J B1.1/B1.2)	40			◎			
		2. 平易な英語で書かれた文や自分の専門分野に関しては(Globish1500レベルの語彙使用)難しい部分を読み返せばだいたいの意味がわかる。(CEFR-J B1.2/B2.1)	30			◎			
		3. 身近なトピックや個人的に関心のあるトピックに関しては、聞いて理解したり、簡単な英語でやりとりしたりできる。メモの助けで発表もできる。(CEFR-J A2-2/B1.2)	30			◎			
9	英会話Ⅰ	1. Globishの初上級レベル(pre-advanced level)の語彙を理解している	40			◎			
		2. 日常的な場面で、短い文章を使って簡単なやり取りができる	40			◎	○		
		3. 英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける	20			◎	○		
10	英会話Ⅱ	1. Globishの初上級レベル(pre-advanced level)の語彙を理解している	40			◎			
		2. 日常的な場面における平易な会話を聞き取り、おおよその内容を理解できる	40			◎	○		
		3. 文化的背景の多様性を理解した上で、円滑なコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている	20			◎	○		
11	英語文献を読むⅠ	1. 記事やエッセイなどの一般的な英語文献を読み、おおよその内容を理解することができる	40	○		◎			
		2. 論説文の語彙・成句やパラグラフの構成を理解している	30			◎			
		3. 記事やエッセイなどの一般的な英語文献を通して、海外からの情報を得ることができる	30	◎	○				

外国

	学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業 内外の学修 活動の総和) 全体を100とし たときの配分	ディプロマポリシーの項目番号				
					凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで				
					①	②	③	④	⑤
語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	12	英語文献を読むⅡ	1. 記事やエッセイなどの一般的な英語文献を読み、日本語で要約することができる	30	○	◎			
			2. 前後関係から知らない単語の意味を推測しながら読み進めることができる	30		◎			
			3. 情報源として、英語文献を用いることができるようになる	40		○		◎	
	13	医療英語	1. 健康科学分野において必要な英語表現を学習する	45		◎			
			2. 健康科学分野に必要な英語の医学用語および略語を修得する	45		◎			
			3. 健康科学分野における重要な英語論文を抄読する	10		◎			
	14	海外での語学研修	1. 海外での生活を慣れ、研修先の言語で平易な日常会話ができるようになる	60	○	◎			
			2. 異文化を理解し、多様な価値観を知る	20	◎	○			
			3. 海外での生活体験を通じて、自立心や生活力、コミュニケーション能力を高める	20	○	◎			
	15	中国語Ⅰ	1. 中国語の正しい発音を習得する	30		◎			
			2. 中国語で自己紹介ができる	40		◎		◎	
			3. 中国の文化への理解を深める	30		◎		○	
	16	中国語Ⅱ	1. 中国語の基本的な語法を習得する	30		◎			
			2. 中国語で簡単な会話ができる	40		◎		◎	
			3. 中国の社会と生活への理解を深める	30		◎		○	
	17	ハングルⅠ	1. 韓国語で簡単な挨拶ができる	30	◎			○	
			2. 韓国語の発音及び文法の基礎が理解できる	50	◎			○	
			3. 語学の学習を通じて、隣国の文化を知る	20	◎			○	
18	ハングルⅡ	1. 韓国語で簡単な会話ができる	30	◎			○		
		2. 韓国語の発音及び文法が理解できる	50	◎			○		
		3. 語学の学習を通じて、隣国の社会と生活を知る	20	◎			○		
19	健康の科学	1. 望ましいライフスタイルと生涯環境の側面から健康について理解し、説明ができる	40	◎				○	
		2. 個人・集団の健康指標を分析できる	30	◎			○		
		3. 健康の自主管理の実践に取り組むことができる	30	○			◎		
20	食生活と健康	1. 健康に必要な栄養成分を理解している	30	◎				○	
		2. 食品の栄養成分について理解している	30	◎			○		
		3. 健康を維持するための食品の適切な摂取法を理解し、実践できる	40	◎			○		
21	生涯スポーツ入門	1. 生涯スポーツの理論を学び、自身の生活について省察する。	40	○				◎	
		2. 様々なスポーツの価値を理解し、自身のスポーツへの関わり方を検討する。	30	○			◎		
		3. スポーツ観戦やスポーツボランティアの取り組みについて知る。	30	◎			○		
22	スポーツ実技Ⅰ	1. スポーツの本質に迫り、独自のおもしろさを確認する。	40	◎			○		
		2. スポーツ技術を系統的に実践することができる。	30	◎			○		
		3. スポーツを自主的、集団的に実践できる力量を高めることができる。	30	○			◎		
23	スポーツ実技Ⅱ	1. 各スポーツの本質に迫り、独自のおもしろさを確認する。	40	◎			○		
		2. 各スポーツの技術を系統的に実践することができる。	30	◎			○		
		3. 各スポーツを自主的、集団的に実践できる力量を高めることができる。	30	○			◎		
24	哲学と倫理	1. 哲学者たちの人生や思想を理解する	30	◎			○		
		2. 哲学者たちの考え方を手がかりとして、自分を振り返ることができる	35	○			◎		
		3. 哲学者たちの考え方を手がかりとし、正しい社会の在り方を考察できる	35	○			◎		
25	仏教文化	1. 「仏教」を文化として理解する	35	○			◎		
		2. アジア各地の仏教文化の特徴を理解する	35	○			◎		
		3. 仏教史と文化との関連性を理解する	30	○			◎		
26	文化人類学	1. 文化人類学の視点や分析法を理解している	40	◎			○		
		2. 《他者》を理解し《他者》から学ぶ姿勢を身につけている	30	◎			○		
		3. 異文化を通じ自分を振り返ることができる	30	◎			○		
27	言語と文学	1. 言語の基本的性質を理解し、現代社会における言語の働きを自ら分析することができる	30	◎			○		
		2. 言語による表現の代表として文学作品を読み解き、自らの確な批評を行うことができる	40	◎			○		
		3. 言語と文学作品を通して、自らの生き方について内省を深め、人生を豊かにする姿勢と持っている	30	◎			○		

No.	I 群	学 科 目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業 内外の学修 活動の総和) 全体を100とし たときの配分	ディプロマポリシーの項目番号				
						凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで				
						①	②	③	④	⑤
28		日本文化の理解	日本文化の特質を正しく理解する	1. 日本社会の成り立ちと展望を理解できる	30	○		◎		
				2. 文化の多様性・重層性を理解できる	30	○		◎		
				3. 現代の日常生活に生きている日本の伝統文化を認識することができる。	40	○		◎		
29		京都の歴史と文化	京都を視点として、日本社会・文化の成り立ちとその変遷を理解している	1. 日本の歴史に関する基礎的な知識を修得している	50	◎		○		
				2. 京都が日本の歴史でどのような位置を占めるかについて認識を深め、現代の社会や文化が成り立つ基盤を理解している	30	◎		○		
				3. 京都と地域との関係を理解し、時代によって変遷する関係の多様性を理解している	20	◎		○		
30		芸術文化論	美術・音楽・映画・舞台などの芸術が古典を受容しつつ新たな世界を獲得していくことを、具体例を通して学び、芸術文化の創造性と持続性について理解を深める。	1. 古典的なテーマを持つ普遍性を手がかりにして、各時代の思想的・文化的背景を理解できる	35	◎				○
				2. 芸術文化の同時代性を、さまざまな視点から考察できる	35	○			◎	
				3. 芸術文化と自らと文化との接点を見出し、豊かな人生を送る基盤とすることができる	30	○			◎	
31		サブカルチャー論	現代文化の諸相について広く接し、文化の多様性・創造性について理解を深める	1. 現代文化の多様性を理解し、幅広いている知識を修得している	30	◎		○		
				2. 言語・映像による表現の可能性を理解し、すぐれた表現を持つ作品について、自ら分析・批評を行うことができる	30	◎		○		
				3. 現代社会におけるサブカルチャーの意義を自ら説明することができる	40	◎		○		
32		国際社会の理解	世界がどのように動いているのかを把握し、グローバル社会への理解を深める	1. 現代の国際情勢を理解できる	50	◎			○	
				2. みずからがグローバル社会の一員であることを認識できる	30	◎		○		
				3. 東アジア、そして世界の平和構築のために何が出来るかを構想できる	20	○			◎	
33		現代欧米事情	現代のアメリカやヨーロッパの動向や課題を把握し、グローバル社会への理解を深める	1. 現代のアメリカやヨーロッパの動向と課題を、的確に把握できる	40	◎			○	
				2. 欧米社会を視点として多様性をもたらすさまざまな現象を把握し、グローバル社会の可能性と課題が理解できる	30	◎		○		
				3. グローバル社会の一員として、とくに欧米社会とどのように関わっていけばいいかを構想できる	30	○			◎	
34		現代アジア事情	アジアの文化に対する理解を深める	1. アジアの文化に対する理解を深め、理解できる	30	◎			○	
				2. アジアの歴史と国際情勢を理解できる	30	◎		○		
				3. アジアの文化との比較を通して自国の文化を認識できる	30	◎		○		
35		国際社会とジェンダー	ジェンダーの視点を基礎から学ぶ。また、ジェンダー問題の国際比較をし、自分の暮らす社会のジェンダー課題を批判的に考察する視点を身につける。	1. どのようにジェンダーが構築されているかを、日常生活の具体的な場面から考察することができる。	30	◎		○		
				2. 現代社会におけるジェンダーの課題を自らの課題として捉え、考察する態度を身につけている。	30			◎	○	
				3. ジェンダー課題に対する国際的な潮流、各国の現状や取り組みを理解し、自分の暮らす社会の現状を含め、批判的に考察できる。	40	◎		○		
36		心理学	学習、発達、情動、知能などの心理学の諸理論の概要を把握する	1. 心理学の様々な領域における基本的な知識を習得する	50	◎				
				2. 心理学的なものを見方を理解できる	30	◎				
				3. 心理学を実践と結びつけながら考え、相互の理解を深める	20	◎			○	
37		社会学	社会学的なものを見方を理解する	1. 社会学の基礎概念を理解する	30	◎				
				2. 社会学が対象とする多様な領域について理解する	50	◎				
				3. 社会学を現代社会の諸問題と結びつけて考えることができる	20	◎			○	
38		日本国憲法	日本国憲法の理念と現実を理解する	1. 憲法の基本的な原則を理解する	45	◎				
				2. 具体的な判例等を通して人権の問題を理解する	45	◎				
				3. 暮らしにおける憲法の意味を理解する	10	◎				
39		現代社会と法	実社会で活用できる「法的なものを見方」・「法を使いこなす力」を養う	1. 主要な法原則、法制度について理解する	30	◎				
				2. 各法制度が日常でどのような役割を果たしているのかを説明できる	50	◎				
				3. 法的なものを見方により、トラブルの事例に対して適切な処理方法を選択・判断できる	20	○		◎		
40		現代社会と政治	よき主権者として政治に関心をもち、積極的に参加するための知識、技能、態度を身につける	1. 政治学の基礎・基本の概念について理解する	30	◎				
				2. 先進国の政治体制を支える自由主義、民主主義について理解する	20	◎			○	
				3. 日本を中心に先進国政治の構造と過程の特徴を理解する	50	◎			○	
41		くらしのなかの経済学	現実社会における実際の経済現象や時事問題を経済学という視点で、より身近なものとして捉えるための基本を身につける	1. 経済学全般の基礎概念と基本的な分析枠組みの概要を理解できる	30	◎				
				2. 家計・企業・政府といった経済主体、国内総生産・失業率等の経済指標、企業と市場との関係、景気や物価など経済現象の現状と背景について理解できる	30	◎				
				3. くらしの中にある身の回りの出来事と経済学の関係を具体的に理解できる	40	◎				
42		くらしのなかの統計学	身近な題材をもとに、統計の基本的な考え方を学ぶ	1. 社会における統計データの役割と重要性を理解している	40	◎				
				2. データを統計的に整理し、データの特徴を表やグラフを用いて説明できる	30	○		◎		
				3. 推測統計の基本的な考え方を理解している	30	◎		○		
43		生命の科学	身近な生命・生物が関連する現象・事象を生物学・生化学の視点で考察する	1. 生命・生物の特性を説明できる	50	◎				
				2. 身近な生命・生物が関連する現象・事象に興味をもち、理解できる	30	◎				
				3. 生命の進化・分類を説明できる	20	◎				

人文・社会・自然

II 群

No.	科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業 内外の学修 活動の総和) 全体を100とし たときの配分	ディプロマポリシーの項目番号				
					凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで				
					①	②	③	④	⑤
44	生活と物理・化学	生活の中にある物理・化学現象を理解する	1. 基礎的な物理と化学の知識を身に付ける	40	◎			○	
			2. 生活の中に存在する物理現象について理解する	30	◎			○	
			3. 生活の中に存在する化学現象について理解する	30	◎			○	
45	地域と環境	環境破壊に至った経緯と、現在の状況を正しく理解し、持続可能な社会の在り方を提案できる。	1. 環境問題の現状について理解している	30	◎		○		
			2. 環境問題が起こった経緯を理解している	30	◎		○		
			3. 人類がめざすべき循環型社会について、正しい知識をもとに論じることができる	40			○		○
46	生活と防災	被害を最小限に抑えるための正しい防災知識を座学と実学の両面から身に付ける。	1. 近年の災害状況を理解している。	30	◎		○		
			2. 防災に関する正しい知識を身につけている。	30	◎		○		
			3. 防災知識を実践で活かせるように備えている。	40			○		○
47	ボランティア論	ボランティアの意味と幅広い活動分野の学習を通じたボランティア活動の基礎理解	1. ボランティアとは何かを理解している	40	◎				
			2. ボランティア活動には幅広い活動分野があることがわかる	30	◎				
			3. ボランティア活動とその根底にある社会問題とを関連させて捉えることができる	30	◎				○
48	情報リテラシー基礎	大学での学習および生活において必須となる基礎的なICT利活用力を身につける	1. 自らのパソコンを適切に管理し、安全に活用できる。	30		◎		○	
			2. Officeソフトの操作を理解し目的に応じた資料作成等ができる	50		◎		○	
			3. セキュリティや情報モラル等を理解し場面に応じた必要な判断ができる	20		◎		○	
49	情報リテラシー応用	データやAIを生活や仕事等の場で使いこなすための基礎的素養を身につける	1. データ・AI活用領域の広がりや理解し、データ・AIを活用する価値を説明できる。また、データ・AIを扱う上での留意事項を理解している	30		◎		○	
			2. Excelなどの表計算ソフトウェアを用いてデータを適切に整理・分析することができる	40		◎		○	
			3. 整理したデータや分析結果を正しく読み解き、適切な図表を用いて表現し、他者に分かりやすく伝えることができる	30		◎		○	
50	数的処理の基礎	数的処理の基礎を理解し、数量を解釈してデータの処理ができる力を養う	1. 数学と数的処理の基礎力を身に付ける。	30		◎		○	
			2. 物事を筋道立てて考え、数量を解釈することができる。	30		◎		○	
			3. 割合の理解と応用、比、速さ、データの統計的処理について理解する。	40		◎		○	
51	日本語表現の技法	文章の論理的理解の基礎力を養い、感性的な受容力、表現力を総合的に養成する	1. 論理的な読解力を身に付け、正確な論旨の把握を行い、その内容について、自らの意見を明確かつ適切に表現することができる		○	◎			
			2. 多様なジャンルの日本語表現に触れ、それらの持つ特性を的確に理解した上で、内容を理解し自らの言葉で説明することができる		◎	○			
			3. アカデミックライティングの手法を習得し、自ら設定したテーマに即して、論理的で明確な小論文を作成することができる			○			◎
52	読解と思考の技法	実生活に生きる読解力と思考力を身につける	1. 段落相互の関係に着目し、要旨を捉えることができる(基本的読解力)	20		◎		○	
			2. 根拠をもとに筋道立てて考えることができる(思考力)	40		◎		○	
			3. 論理的で建設的な思考の技法を修得することができる(クリティカル・シンキング)	40		◎		○	
53	Webデザイン	実践的なウェブサイト制作のノウハウを学ぶ	1. テキストエディタを用いてHTMLを記述できるようになる	40		◎		○	
			2. CSSの基本的な記述ルールを理解し、デザイン性の優れたホームページが作れるようになる	40	○	◎			
			3. 基本的なWebサイト管理ができるようになる	20	○	◎			
54	プログラミング入門	プログラミングを通じて、論理的思考力を鍛える	1. Scratchを用いて、簡単なプログラムが作れるようになる	20	○	◎			
			2. 繰り返しや条件分岐など、プログラミング特有の考え方を理解する	40		◎		○	
			3. Pythonなどのスクリプト言語を使って、簡単なプログラムが作成できるようになる。	40		◎			○
55	産官学連携プロジェクト	地域連携プロジェクトを通じた実践力の養成	1. 地域社会の課題を明確に捉えることができる	30	◎			○	
			2. 地域団体(企業、行政、NPOなど)のメンバーと協同でプロジェクトを推進できる	30	◎		○		○
			3. 新しい提案で現状の課題をクリアすることができる	40	◎				◎
56	インターンシップ	就業体験により職業についての理解を深める	1. 就業体験の目標を設定し、職場が求めるスキルを理解する	10					◎
			2. 就業体験を通して自己の職業適性を理解する	60				○	◎
			3. 就業体験で得た事を報告書にまとめて発表する	30					◎
57	日本語F I	日本語運用能力を身につける	1. 読む・書く・話す・聞くの4技能の力をつける	40		◎		○	
			2. 新聞記事・論説文などを読解し、要約できる	10		◎		○	
			3. 文法的に正確な表現ができるようになる	40		◎		○	
			4. 口頭で発表することができるようになる	10		◎		○	
58	日本語F II	日本語運用能力を向上させ、日本語で見たたり聞いたり考えたりできる	1. 読む・書く・話す・聞くの4技能の力をつける	40		◎		○	
			2. 新聞記事・論説文などを読解し、要約できる	20		◎		○	
			3. 話し言葉と書き言葉の使い分けができるようになる	20		◎		○	
			4. 口頭で発表することができる	20		◎		○	

キャリアデザイン

	留學生	学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業 内外の学修 活動の総和) 全体を100とし たときの配分	ディプロマポリシーの項目番号				
						凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで				
						①	②	③	④	⑤
59		日本語S I	日本語運用能力を向上させる	1. 日本語の論文を読むことができる	20		◎		○	
				2. 文法的に正確な表現ができる	30		◎		○	
				3. 論理的な文章を書くことができる	30		◎		○	
				4. 口頭発表及び質疑応答ができるようになる	20		◎		○	
60		日本語S II	日本語運用能力を向上させ、 日本語で研究できる	1. データの集め方やレジュメの作り方を学ぶ	20		◎		○	
				2. 文法的に正確な表現ができ、専門的な語彙を身につける	30		◎		○	
				3. レポートや論文が書けるようになる	30		◎		○	
				4. 口頭発表及び質疑応答ができる	20		◎		○	
61		日本事情 I	日本の文化・習慣を理解する	1. 日本についての基礎的な知識を身につける	40	○		◎		
				2. 日本での生活で留意する点を理解する	30	○		◎		
				3. 体験学習を通じて日本文化への理解を深める	30	○		◎		
62		日本事情 II	日本の文化・習慣を理解し、自 国の文化や習慣と比較し、異 文化理解を深める	1. 日本の伝統文化についての知識を身につける	25	○		◎		
				2. サブカルチャーなど、現代の日本についての理解を深める	25	○		◎		
				3. 体験学習を通じて日本文化への理解を深める	20	○		◎		
				4. 日本と自国の文化・習慣を比較し、自分の意見を述べる	30	○		◎		